

とにかく生きていくということは己の力ではままたならないことばかりで、神仏のご加護のお陰でなんとか生きて来られたとつくづく感じます。神様、仏様を信じる者には神仏は存在し、信じない者には神仏は存在しないと言います。また、信じる者の神様のイメージも人によって様々でありましょう。ただ私が思うのは、信じる人は自分の幸せを願うこともさることながら、他の人の幸せをも願い祈るということです。

毎年七夕が終わったあと、笹から皆の願いを一枚一枚外しながら読むのが楽しみなのですが、その中に家族や友人の幸せを願う文章を見ると心がほのぼのとします。ところが私はというと、初めて自分のことをお願いをしました。「滑舌が良く楽しい授業ができますように」であります。というのも、車の音声検索で正しく聞き取ってもらえないのです。この前も孫が乗馬クラブの体験をするということで、「ベルホースファーム」と言ったところ、ナビの表示に「オホーツクさん」と出たのです。合っている箇所は「ホー」だけやん。どんだけ滑舌が悪いねんと情けなくなりました。

一方、孫たちはその日乗馬を体験して楽しかったと言って帰ってきました。その様子を見て思ったのは、人と馬は言葉が通じないのですが、通じないからこそ心を通わせるんだなと。人と人は言葉により自分の考えや思いを伝えられるのに、心を通じ合わせることができていないのではないのだろうか。お金の為なら人をだましたり傷つけたりしても平気な人が多い社会になっているように感じます。さてさて日本の教育は子ども達をどんな大人に導き育てていくのですか。単に学力を身に付ければいいのか。心の病んだ頭でっかち、これが一番厄介な生き物であります。言葉を使って心伝えられる人間。やっぱり、そう、心が大事なのです。神仏はひたすら、私達に、人間として生まれたのだから人間らしく生きることを願っていると私は思います。

追伸 明正の教育方針 玄関に貼ってあるのですが、同封しますので読んでみてください。

**【英語検定】 しめきり 9月1日(金)**

検定日 10月8日(日)

**※締め切りを過ぎた申し込みは受付できません**

**完全閉塾 8月14・15・16日**

塾本館・学志館共に入れません。

忘れ物があっても取りに入れませんので、自習道具などはあらかじめ持ち帰っておくこと。

